

地方創生関係交付金の継続について

平成30年11月

【担当省庁】内閣官房（まち・ひと・しごと創生本部）

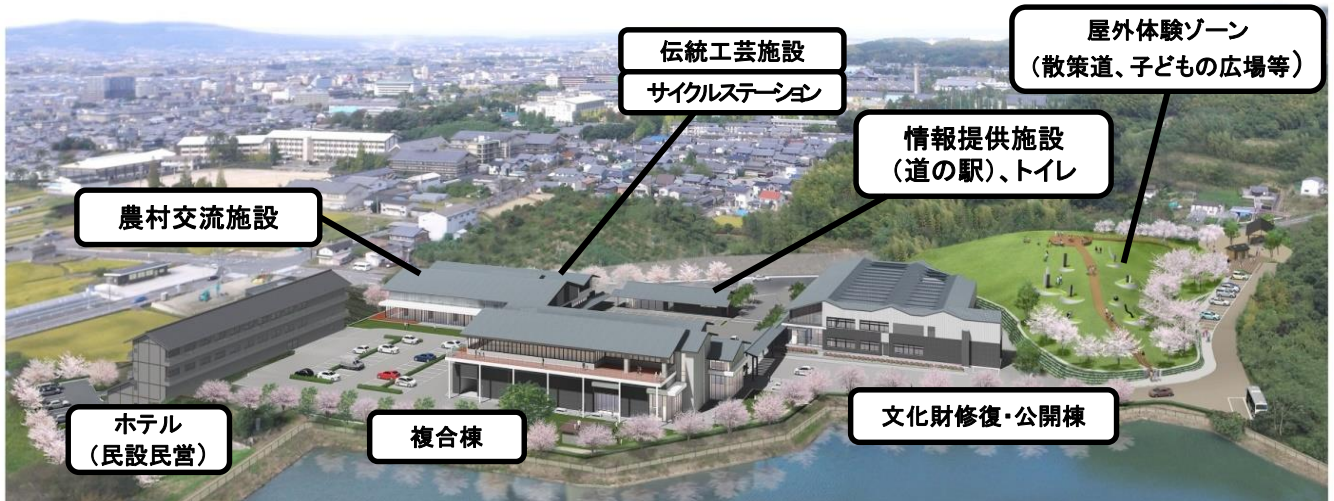
奈良県における取組



生産性革命に資する**地方創生拠点整備交付金**の平成30年度2次募集において、当該交付金の**運用を弾力化**し、平成30年度から平成31年度にわたる事業の実施を可能にするとともに、**(仮称)奈良県国際芸術家村整備推進事業**を**基金事業**として採択いただいたことに心より感謝。

(仮称)奈良県国際芸術家村整備事業(交付決定額 7億9,357万円)

歴史文化資源の修復・活用等に係る拠点施設に加え、地域の生産性向上や観光・交流拠点としての機能などを有する地方創生の先駆的な拠点として整備。



[地方創生拠点整備交付金]

○平成29年度1次募集

[生産性革命に資する地方創生拠点整備交付金]

○平成30年度1次募集

○平成30年度2次募集

[地方創生推進交付金] 平成28～32年度

事業名:歴史文化資源を核とした文化・芸術振興の拠点づくりプロジェクト

○ 地方創生推進交付金については

- ・歴史文化資源を核とした文化・芸術振興の拠点づくりプロジェクト
- ・文化財の国際的展開を通じた奈良の国際ブランド力最大化プロジェクト
- ・大和野菜の生産性拡大、販路開拓、担い手確保のためのプロジェクト

などに効果的に活用。

○ 地方創生拠点整備交付金と地方創生推進交付金は、「住んで良し」、「働いて良し」、「訪れて良し」を目指す本県の地方創生を推進する強力なエンジン。

○ 本県では、平成30年度の1次募集及び2次募集において、以下のとおり交付決定を受け、事業を推進。

【1次募集】

- ・奈良県 推進交付金 10事業 5億9,448万円
拠点整備交付金 2事業 6億3,262万円
- ・市町村 推進交付金 35市町村 50事業 4億9,176万円

※5月には、内閣府地方創生推進事務局の職員に御来県いただき、県・市町村職員とともに学ぶ地方創生関係交付金活用勉強会を実施。

【2次募集】

- ・奈良県 拠点整備交付金 1事業 7億9,357万円
- ・市町村 推進交付金 4市町 4事業 7,840万円
拠点整備交付金 2市村 2事業 7,435万円

※10月にも、内閣府地方創生推進事務局の職員に御来県いただき、来年度の地方創生推進交付金の申請に向けた勉強会を実施。県・市町村の担当者約70名が参加。

国にお願いすること

○ 大阪のベッドタウンとして発展してきた本県は、他県より人口減少と高齢化が急速に進んでいく。この影響を緩和し、持続的に発展していくためには、将来の地域発展に繋がる投資を積極的に行っていく必要がある。そのため、**地方創生拠点整備交付金**について、そのような投資が安定的に実施できるよう、**来年度以降も十分な規模を確保**されたい。

○ **地方創生推進交付金**については、左記のとおり、本県の強みである歴史文化資源の保存・活用や、奈良の魅力発信、ブランド力の向上などの施策や事業に活用しており、これらを安定的・継続的に実施する必要があることから、今年度(国費ベース1,000億円)以上の**規模を確保**されたい。